

市長が選ぶ 令和7年津市政の10大ニュース



令和7年12月22日

市長が選ぶ 令和7年 津市政の10大ニュース

1

香良洲高台防災公園完成

2

新・津興橋が開通

3

津市の地方創生2.0始動

4

「こどもまんなか社会実現会議」
スタート

5

津駅周辺 未来のビジョン策定

6

大門・丸之内地区
土地・建物の活用へ 新システム開始

7

「奇跡の名松線」全線開業90周年

8

地域計画 100地区で策定完了

9

SG第72回ボートレースダービー
開催

10

ありがとう！高速船フェニックス

1

香良洲高台防災公園完成

普段は憩いの場、津波の際には避難場所
海拔10mの高台の公園が3月25日に完成、4月1日に供用開始



■竣工式典(3月30日)

高台部分の広さは
約5.4ヘクタール！

屋内運動施設

建築面積:1,137㎡
避難可能面積:850㎡
最大収容人数:850人

管理棟

建築面積:657㎡
避難可能面積:227㎡
飲料水、簡易トイレ、非常用食品、
エアテントなどを配備
最大収容人数:227人

総事業費:25億6,143万円

整備期間:平成26年度～令和6年度

新・津興橋が開通

平成28年度から整備を行っていた津興橋の新橋が開通
12月21日に「**渡り初め式**」

整備前



仮橋による通行時



総事業費:53.0億円(うち国庫補助26.7億円) 事業期間:平成28年度～令和8年度

※令和8年度見込額を含む

3 津市の地方創生2.0始動

地方創生第2世代交付金に採択された**6事業がスタート**
総事業費48億円で、**こどもの遊び場**や文化ホール等を整備

安濃中央総合公園を子育て世代が
安心して遊べる公園へグレードアップ
事業費:4億3,000万円
事業期間:R7~R11年度



津駅近くの津偕楽公園を
多世代が楽しく寛げる空間に
事業費:2億4,000万円
事業期間:R7~R13年度

市内8つの文化ホールの機能を強化
事業費:21億1,000万円
事業期間:R7~R11年度



お城公園(津城跡)に遊び場を新設し
石垣の景観を楽しめる公園に
事業費:2億9,000万円
事業期間:R7~R10年度



久居中央スポーツ公園を
地域全体でこどもの豊かな
成長を育む遊び場に
事業費:8億9,000万円
事業期間:R7~R10年度



川喜田半泥子ゆかりの千歳山と
岩田池公園を整備して魅力発信
事業費:8億1,000万円
事業期間:R7~R13年度



「こどもまんなか社会実現会議」スタート

こども・若者や子育て世代の皆さんの思いを施策に反映し
「こどもまんなか社会」を実現していく、
新しい市民参画型の会議を4月から開催

津市こどもまんなか社会実現会議

こども会議

小中学生と高校生年代のこどもが、津市のこども施策について意見を出し合う会議



事業推進会議

メンバーを固定せず誰もが自由に参加でき、事業や政策テーマによってさまざまな形で事業を推進する会議

〈事業推進会議〉



久居中央スポーツ公園の整備事業について、令和7年中に事業推進会議を計9回開催。

参加者:のべ385人
(うち、こども171人)

総合会議

こども・若者、子育て当事者が集まり、総合的な視点からこども・子育て施策について議論する会議



お城公園の整備事業について、令和7年中に事業推進会議とこども会議in養正小学校を計9回開催。

参加者:のべ278人
(うち、こども129人)

7月31日、津駅周辺を利便性が高く賑わいと活力あふれるエリアにしていくための「**津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)**」を策定

基本理念

みえ県都の顔となり、地域の活力を引き出し、災害にも強い空間へ

整備コンセプト

【東口】

交通結節機能が強化され、広域から人が集まり、賑わいや憩いの場がある東口

【西口】

市民の安心・快適な移動を支える西口

【東西連携】

様々な人が東西を行き交い交流が生まれる



5月16日、土地・建物の所有者と事業者の互いの意向を
マッチングさせる市独自の仕組み

「津市大門・丸之内 土地・建物活用意向登録システム」を運用開始

特徴1

将来の意向にも対応

2年先に土地
を売りたい！

2年先に店を
持ちたい！

特徴2

土地の集約・再編も視野
に入れたコーディネート

隣の土地と一緒に
なら買いたい！

特徴3

津市が営利目的でなく
まちづくりのために運用

行政機関だから
信用できる！

運用状況
(5月16日～12月19日)

登録件数:所有者情報13件、事業者情報13件 うち、情報マッチング10件、
取引成立1件！

「奇跡の名松線」全線開業90周年

12月5日、昭和10年に全線開業したJR名松線が
台風被害等による廃線の危機を乗り越えて**開業90周年**に

名松線の歩み

■昭和10(1935)年

名松線は、昭和4年に松阪～権現前間が開業してから延伸開業を重ね、昭和10年12月5日に、現在の終点である伊勢奥津駅まで全線開業

■平成21(2009)年

10月の台風18号の被害により、家城駅～伊勢奥津駅間で列車が不通に
→代行バスによる運行
→全線復旧を求める署名活動

■平成28(2016)年

3月26日、6年半ぶりに全線復旧



多くの地元住民や鉄道ファンが訪れた開業90周年記念イベント(12月7日)

地域計画 100地区で策定完了

7月25日、地域農業の10年後の姿を描く「地域計画」の策定が
目標の**100地区全てで完了**

地域	策定数	位置付けた担い手等 (延べ数)	地域計画区域内の 農用地等面積(ha)	目標年度における 担い手等への集積面積(ha)	目標 集積率(%)
津	34	174	1581.8	1015.6	64
久居	5	76	914.0	434.2	48
河芸	4	31	376.7	164.9	44
芸濃	11	37	627.2	310.0	49
美里	7	23	405.9	279.9	69
安濃	31	117	900.5	575.4	64
香良洲	1	5	23.1	19.2	83
一志	1	24	495.0	422.1	85
白山	5	21	903.0	439.0	49
美杉	1	28	67.6	43.9	65
合計	100	536	6294.8	3704.2	59

SG第72回ボートレースダービー開催

10月21日から6日間にわたり
12年ぶりにSG競走を開催。売上合計は135億円超



- ・SGボートレースダービーは、最高位である8つのSG競走の中でも5大SGに位置づけられ、最も歴史のあるSG競走
- ・売上は、目標売上額の130億円を上回り、135億1,000万円！
- ・6日間の入場者数は、2万7,000人超

ボートレース津の収益金を津市政に活用しています

H28～R7 一般会計への繰出額 136億円



こども基金(30億円)、学校施設整備基金(6億円)等の財源に活用

10月2日、津なぎさまちと中部国際空港を
20年間繋いできた高速船2隻のうち1隻が引退

津なぎさまちと中部国際空港を高速船で結ぶ「**津航路**」は
開港20周年となる令和7年4月に**累計利用者数500万人**を突破！
その後、5月10日にフェニックスの左舷エンジンの故障が発生。
調査結果や船齢等を鑑み、修繕を断念。



代替船舶の運航

フェニックスの処分
(使える部品の活用)

津航路に最適な船舶の新造と
運航体制の確立に向けた検討